

ステレオ イヤーレシーバー

MDR-XB21iP

Made for
iPod iPhone iPad

©2011 Sony Corporation Printed in Thailand

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

△警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

△警告

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- 接続先の取扱説明書も必ずお読みください。
- 安全のために注意事項を守る。
- 故障したら使わない。
- 万一異常が起きたら、ソニーの相談窓口、またはお買い上げ店に修理を依頼する。

△警告

交通安全のために

運転中は使用しない

自動車やバイク、自転車などの運転中に、イヤーレシーバーは絶対に使わないでください。交通事故の原因となります。

運転中以外でも、踏切や駅のホーム、車の通る道、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では使わないでください。

△注意

- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。耳を守るため、音量を上げすぎないようにご注意ください。
- このイヤーレシーバーは、音量を上げすぎると音が外に漏れます。音量を上げすぎて、まわりの人の迷惑にならないように気をつけましょう。雑音の多いところでは音量を上げてしまいがちですが、イヤーレシーバーで聞くときはいつも呼びかけられて返事ができるくらいの音量を自安にしてください。
- このイヤーレシーバーは、密閉度を高めていますので、強く押された場合、鼓膜などを痛める危険があります。他の人と強く接触したり、ボールなどが飛んでくるような場所では使用しないでください。また、イヤーレシーバーを耳に押しつけると、振動板から音が生じる場合がありますが、故障ではありません。
- イヤーレシーバーが肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して、医師またはソニーの相談窓口、お買い上げ店にご相談ください。
- 本機を使用中に気分が悪くなった場合は、すぐに本機の使用を中止してください。
- イヤーピースはしっかりと取り付けてください。イヤーピースがはずれて耳に残ると、けがや病気の原因となることがあります。
- iPodとつないだイヤーレシーバーと付属のキャリングポーチなどに一緒に入れる場合は、誤ってリモコンボタンを押してしまわないようご注意ください。

iPod & iPhone対応モデル

本機には下記のiPod & iPhoneが対応しています。ご使用の前に、お使いのiPod & iPhoneを最新のソフトウェアにアップデートしてください。特別な場合を除き、この取扱説明書ではiPodおよびiPhoneの総称として「iPod」と記載しています。

- iPod touch(第4世代)
- iPod touch(第3世代)
- iPod touch(第2世代)
- iPod nano(第6世代)
- iPod nano(第5世代ビデオカメラ)
- iPod nano(第4世代ビデオ)
- iPod classic 120GB / 160GB (2009)
- iPod shuffle(第4世代)
- iPod shuffle(第3世代)
- iPhone 4
- iPhone 3GS
- iPad

※2011年4月現在

ご注意

- 対応以外のiPodを本機に接続しないでください。本機で対応していないiPodを使用した際の動作は保証しておりません。
- 対応しているiPodでも、本機においてすべての操作ができるわけではありません。
- iPodのソフトウェアのバージョンによっては、本機で操作できないことがあります。
- 本機の不具合など何らかの原因で、外部機器などの記録内容が破損・消滅した場合など、いかなる場合においても、記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修復・復元・複製などはいたしません。あらかじめご了承ください。

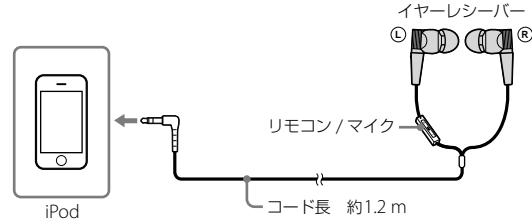
商標

- iPod、iPod classic、iPod nano、iPod shuffle、iPod touchは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。iPadは、Apple Inc.の商標です。
- 「Made for iPod」「Made for iPhone」および、「Made for iPad」とは、それぞれiPod、iPhone、iPad専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパーによって認定された電子アクセサリであることを示します。アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。

主な特長

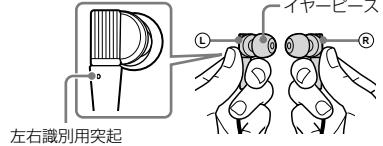
- 音楽・動画再生時など、手元で簡単にリモコン操作ができる iPod / iPhone / iPad用ヘッドホン
- 9mm ドライバユニットと鼓膜までの機密を高めることにより漏洩を極限まで減らしたダイレクトバイブルトラクチャーを採用。迫力のある重低音再生
- 直径9 mmのドライバユニットの小ささを保つつつ、アングルド・イヤーピース構造により、快適で安定性の高い装着性を実現
- かさばらずアウトドアでの使用でも軽快なフラットコード採用
- iPhone使用時ハンズフリーで通話が可能なマイクロホン付

接続のしかた

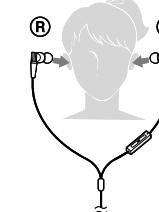


イヤーレシーバーの正しい装着方法

- 1 左右を確認し、図のように持つ。
①の印の方には左右識別用の突起があります。



- 2 図のように、本体が耳におさまるようにしっかりと装着する。
⑥の印のついた方を右耳に、①の印のついた方を左耳に付けてください。



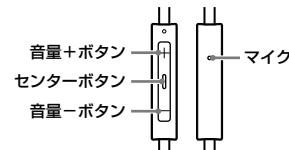
- 3 イヤーピースが耳にきちんと装着されるように調節する。



リモコン/マイクの使いかた

つないだiPodを操作できます。

各部のなまえと働き



- 音量+ボタン**
iPodの音量が上がります。
- センターボタン**
 - 1回押す(●):iPodの曲を再生/一時停止します。
 - 2回押す(●●):次の曲を頭出します。
 - 3回押す(●●●):前の曲を頭出します。
 - 押し続ける(■):"VoiceOver"機能が始まります(対応する場合のみ)*。
 - 着信時に1回押す(●):通話できます。通話を終了するにはもう一度押してください。
 - 着信時に2秒以上押し続ける(■):着信拒否できます。ビープ音が小さく2回鳴って着信拒否を知らせます。
- 音量-ボタン**
iPodの音量が下がります。

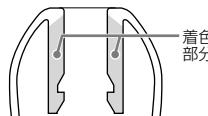
イヤーピースの正しい装着方法

イヤーピースが耳にフィットしていないと、低音が聞こえないことがあります。より良い音質を楽しんでいただくために、イヤーピースのサイズを交換したり、おさまりの良い位置に調整するなど、ぴったり耳に装着させるようにしてください。
お買い上げ時には、Mサイズが装着されています。サイズが耳に合わないと感じたときは、付属のイヤーピースの中から、最適なものを選んで交換してください。
イヤーピースがはずれて耳に残らないよう、イヤーピースを交換する際には、イヤーレシーバーにしっかりと取り付けてください。

イヤーピースのサイズ(内側の色)

小さい	大きい
SS (赤)	S (橙)
M (緑)	L (水色)

断面図



イヤーピースをはずすときは

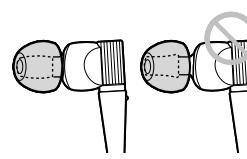
イヤーレシーバーを片手で押さえ、もう一方の手でイヤーピースを軸ごとねじりながらはずします。

ヒント

イヤーピースが滑りやすくはずしにくいときは、乾いた柔らかい布でくるむとはずしやすくなります。

イヤーピースをつけるときは

イヤーレシーバーの突起部分が完全に隠れるまで、イヤーピースの着色部分を押し込んでください。



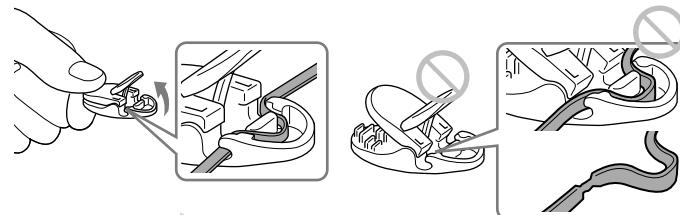
クリップの使いかた

1 クリップが開かないように持ちながらレバーを軽く上げる。

2 レバー下部のみぞにコードを入れる。

注意

- レバーが上がりきった状態と下がっている状態では、みぞにコードを入れることができません。
- コードを突起部に引っかけたり、みぞへ無理に押し込んだりしないでください。断線するおそれがあります。
- コードを取り付けたまま、クリップの位置を変更しないでください。断線する恐れがあります。



主な仕様

レシーバー部

形式:	密閉ダイナミック型
ドライバユニット:	9 mm、ドーム型(CCAW採用)
最大入力:	100 mW(IEC*)
インピーダンス:	16 Ω(1 kHzにて)
音圧感度:	103 dB/mW
再生周波数帯域:	5 ~ 23,000 Hz
コード:	約1.2 m (Y型、フラット)
プラグ:	iPod / iPhone リモコン対応4極金メッキL型ステレオミニプラグ
質量:	約4 g(コード含まず)

マイク部

開回路電圧レベル: -42 dB(0 dB=1 V/Pa)

付属品

イヤーピース(SS、S、M、L各2)

キャリングポーチ(1)

クリップ(1)

取扱説明書(1)

保証書(1)

* IEC(国際電気標準会議)規格による測定値です。

取り扱い上のご注意

- このイヤーレシーバーは、力を加えたり重さを加えたりしたまま長時間放置すると、変形してしまう恐れがあります。保管するときは変形しないようにしてください。
- 落としたりぶつけたりなどの強いショックを与えないでください。
- ユニット部ははいねいに扱ってください。
- 湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や直射日光のあたる場所には置かないでください。故障の原因となります。
- 常に良い音でお聞きいただくために、プラグを時々柔らかい布でからぶきし、清潔に保ってください。
- 汚れは、乾いた柔らかい布でふき取ってください。その際、ユニット部に息を吹きかけることはしないでください。特にプラグ部分を汚れたままにしておくと、音質が悪くなったり、音がとぎれたりすることがあります。
- イヤーピースのお手入れは、イヤーレシーバーからイヤーピースをはずし、うすめた中性洗剤で手洗いしてください。洗浄後は、水気をよくふいてからご使用ください。
- イヤーピースは長期の使用・保存により劣化する恐れがあります。

イヤーピースは消耗品です。イヤーピースが破損し交換する場合は、別売りのEP-EX10シリーズ(SS、S、M、Lの各サイズ)をお買い求めください。

万一故障した場合は、内部を開けずに、ソニーの相談窓口、またはお買い上げ店にご相談ください。

静電気に関するご注意

空気が乾燥する時期に耳にピリピリと痛みを感じることがありますが、イヤーレシーバーの故障ではなく人体に蓄積される静電気によるものです。静電気の発生しにくい天然素材の衣服を身に着けていただくことにより軽減されます。

保証書とアフターサービス

保証書について

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときは

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときは

ソニーの相談窓口、またはお買い上げ店にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

製品登録のおすすめ

ソニーは、製品をご購入いただいたお客様のサポートの充実を図るために、製品登録をお願いしております。詳しくはウェブ上の案内をご覧ください。

パソコンから

<http://www.sony.co.jp/avp-regi/>



携帯電話から

2次元コード対応のカメラつき携帯電話の読み取り機能でご利用ください。

<http://reg.msc.m.sony.jp/avp/>

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などは

ホームページをご活用ください。

<http://www.sony.co.jp/support>

使い方相談窓口

フリーダイヤル 0120-333-020

携帯電話・PHS・一部のIP電話 0466-31-2511

修理相談窓口

フリーダイヤル 0120-222-330

携帯電話・PHS・一部のIP電話 0466-31-2531

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX (共通) 0120-333-389

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に

「309」+「#」

を押してください。
直接、担当窓口へおつなぎします。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1